

(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	5-15 学習活動の促進
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	95.5	96.9	93.5	90.8	94.0		100.0

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して3.2ポイント増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。各種講座の参加人数の制限を設けずに開催したほか、新しい分野、形式での実施に取り組んだことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 朗読グループによる「朗読劇」の開催 図書館では、主に市内で活動する朗読グループ「東館千鶴子ろうどくの会」と共催し、朗読劇「日本の名作・世界の名作」を実施しました。 昔話「うばすて山」や小説「最後の葉」を上演し、参加者は、音声だけの表現に耳を澄まし、日本語の奥深さを味わいました。	 朗読劇「日本の名作・世界の名作」の様子
◆ 博物館講座 百年記念館では、館の調査・研究の成果や十勝・帯広に関わる多方面の最新研究情報を市民にフィードバックする博物館ならではの事業として、博物館講座を12回実施しました。 令和5年度は330人が受講し、地域に根差した多様な学びを市民に提供する機会となりました。	 博物館講座「学芸員のしごと 学芸活動報告会」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座では、45 講座開催し、延べ 1,500 人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。 図書館では、社会教育施設と連携し、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催しました。 百年記念館では、調査・研究を活かした博物館ならではの事業として、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。 動物園では、SNS を活用して積極的に情報発信を行ったほか、飼育体験や裏側探検隊などの講座等を実施しました。
課題及び今後の方向性	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫、わかりやすい情報発信などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供を行います。 図書館においては、社会教育施設に限らず他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組みます。 百年記念館においては、博物館関係機関・施設等との連携を図りながら効率的・効果的な講座の開催、展示の企画に取り組みます。 動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を進めます。

個別施策	5-16 学習を通じたまちづくり
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.3	21.5	25.4	26.2	28.5		31.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して2.3 ポイント上回り、着実に割合が増加しており、目標値に向けて進捗しています。工夫を図りながら事業を再展開したことで、市民の自主的な活動が増加していることによるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 学生によるボランティア活動推進 帯広畜産大学の学生ボランティアによる動物とのふれあい事業のサポートや広報誌作成サポートのほか、独自のイベントの企画、実施により来園者サービスの充実に取り組みました。 動物園では、学生ボランティアの自主性を促しながら、学生の持つ自由な発想や想像力を生かした活動の場を提供しました。	 学生ボランティアによる 「モルモットとのふれあい」の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催したほか、読み聞かせや朗読ボランティアと共催で事業を実施し、活動機会の提供をするとともに、協働し市民への読書活動の推進に取り組みました。 百年記念館では、資料整理をはじめとした、博物館での活動において得た知識や経験をもとに、ボランティアの自主性を促しながら高齢者学級等で出前のレコードコンサートを企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携を図り、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。 生涯学習推進委員会では、各地区ごとに多様な「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館においては、ボランティアと情報交換を図りながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスを行い、相互連携を進めるとともに、活動を支援します。 百年記念館においては、ボランティアの知識向上のために研修会等、学習機会の確保を進め、学習で得た知識を活かした新たな活動の場を提供するほか、養成講座を開催し、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組みます。 動物園においては、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。 地域の生涯学習活動においては、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で実施する様々な活動の支援に取り組みます。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、市ホームページやSNS を効果的に活用しながら情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組みます。

個別施策	5-17 社会教育施設の整備・管理運営
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	96.5	97.3	92.3	91.0	94.1		100
＜成果指標の達成状況＞ R4と比較して3.1ポイント増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新たな設備の導入や実施事業の内容充実によるものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 児童会館でのリアルジオラマ展示 児童会館では、寄贈いただいた昭和50年代の中心市街地を再現したジオラマの常設展示コーナーを、令和5年11月に開設しました。 専用のアクリルケースの台を整備することで、通年でご覧いただけるようになり、帯広のまちや歴史、ものづくりに対する興味関心を高める機会を継続して提供しています。	 リアルジオラマ（旧帯広駅前）
◆ 馬ふれあい舎の整備 おびひろ動物園の魅力アップ（方針）に基づき、十勝おびひろの特色を活かした展示、地域に根ざした学習機会の提供するため、使用されていなかった旧ラクダ舎を解体し、新たに馬ふれあい舎を整備しました。 整備後、ばん馬2頭を導入し、馬に触る、写真を撮るなど、来園者が馬と触れ合う機会を提供することが可能となりました。	 馬ふれあい舎でばん馬と触れ合う入園者の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 とかちプラザでは、外壁改修工事、空調機中央監視装置設計委託、レインボーホールパワーアップ更新を実施しました。 図書館では、自動ドア装置修繕、車庫シャッター修繕等を実施しました。 百年記念館では、受変電設備高圧機器改修工事等を実施しました。 児童会館では、蛍光管照明のLED化等に着手しました。 動物園では、「おびひろ動物園の魅力アップ（方針）」に基づき、馬ふれあい舎やビジターセンター、東側トイレを整備したほか、新キリン舎の整備に着手しました。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、親子向けの夏まつりイベントや学習成果発表の場となるプラザまつりなど、多くの事業を実施し、幅広い年齢層の方へ学習機会を提供しました。 図書館では、こどもの本の森のベンチを修繕し、安全・安心して過ごせる環境を整備しました。 児童会館では、昭和50年代の中心市街地のジオラマ常設展示コーナーや「デジタル遊具コーナー」を開設しました。 百年記念館では、基本的な感染症対策を講じながら、学習機会を提供しました。 動物園では、感染対策を講じながら一日飼育係やおびZoo探検隊等の講座を実施しました。
課題及び今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通じて、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。 図書館においては、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組みます。 児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。 百年記念館においては、アンケートを用いて利用者ニーズを確認、多様な学習機会を提供し、効果的かつ効率的に管理運営を進めます。 動物園においては、全ての人にやさしい、地域に根差した施設整備を実施し、動物福祉の向上や飼育体験等の学習機会の充実に取り組みます。

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	6-18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	64.7	45.1	43.4	51.1	56.1		65.0以上
＜成果指標の達成状況＞ R4と比較して5.0ポイント増加し、基準値を下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、市民の文化芸術活動が活発になったこと等が要因と考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 第42回おびひろ市民芸術祭の開催 帯広市内で文化活動をしている個人や団体が、練習や創作の成果を発表し、多くの人に気軽に鑑賞してもらうことを目的に、市民芸術祭を開催しました。 音楽や舞踊、美術、書道、写真等、幅広いジャンルの文化団体や個人が日頃の活動の成果を発表しました。 55団体739人が参加し、24,871人が来場しました。	 第42回おびひろ市民芸術祭での ステージ舞踊の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や、地元出身・在住の新進若手演奏家による「新人演奏会」を開催しました。また、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とかちジュニア文芸第 14 号を発刊しました。このほか、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化賞及び文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う 2 個人を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 基本的な感染症対策を継続しながら、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施することで、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上を図るため、「とかちジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、基本的な感染症対策を継続しながら、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。

個別施策	6-19 文化資源の継承・活用
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	2,161	1,728	1,638	2,021	1,852		2,269 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して 169 件減少しており、目標値に向けて進捗していません。文化財・史跡等への訪問機会の減少が影響したものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 文化財の保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財を活用する事業として、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号の公開を行いました。 令和5年度は、ぶらり帯広・文化財めぐりに18人が参加、十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号公開には109人が来場し、市民に広く文化財を公開する機会となりました。	 十勝鉄道機関車4号及び客車コハ23号公開の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行いました。また、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行ったほか、重要文化財「八千代 A 遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成に取り組みました。文化財を活用する事業としては、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和 4 年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施するほか、「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう、計画的に取り組めます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組めます。
	(3)市史資料収集・保存 「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、資料収集事業に取り組めます。

個別施策	6-20 文化施設の整備・管理運営
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	83.0	84.3	87.6	97.0	97.0		88.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と同じ水準で、目標値を達成しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善を進めたことなどが評価されたものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 市民文化ホールの改修 市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の拠点施設として、多くの市民に利用されており、施設の特徴を踏まえながら、安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新を進めていく必要があります。令和5年度は、株式会社六花亭様から寄贈いただき、小ホールの客席椅子 512 席を更新したほか、小ホールの照明操作に必要な調光操作卓の更新を実施し、施設の機能維持を目的とした施設整備を進めました。	 更新後の市民文化ホール小ホール客席

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの小ホール椅子の更新及び小ホール調光操作卓の更新を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 市民文化ホールでは、新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、市民の文化芸術活動が活発になったことに加え、継続して安心安全に利用できる環境づくりに取り組んだ結果、利用者は前年度より増加しました。また、指定管理者による利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者の高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 文化施設においては、大半の施設で供用開始から30年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により大幅に減少した、施設利用者数や使用料・利用料金収入は回復傾向にありますが、利用規模の小規模化や物価高騰等による運営経費の増大が課題となっています。また、旧長崎屋帯広店との契約満了に伴い、令和6年度より代替駐車場に変更となることによる利用状況への影響が懸念されます。引き続き、指定管理者と連携しながら、利用状況を注視し、安定的な管理運営と利用者サービスの向上に取り組めます。

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	7-21 多様なスポーツ活動の促進
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	21.0	18.1	17.6	16.5	15.1		22.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R4 と比較して 1.4 ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。指導者不足や、スポーツ種目や習い事の多様化などが要因と考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ スケート競技の振興（講習会・教室開催） スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施しており、令和5年度は、各年代に応じた競技者向けの講習会「スケートキングダム」や、初心者向けには幼児対象や小学生対象のスケート教室を開催しました。	 スケートキングダム（小中学生）の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) スポーツの振興 スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において2個人・1団体、スポーツ奨励賞において6個人・3団体を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1) スポーツの振興 競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進めます。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組みます。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放などを通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	7-22 スポーツによる活力のあるまちづくり
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	82.4	82.0	90.1	95.9	94.0		87.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R4と比較して1.9ポイント減少しましたが、目標値を達成しています。スポーツイベント・教室等の開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施し、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきたほか、市内における各種国際・全国・全道大会やプロスポーツの試合等の開催などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 全国高等学校総合体育大会の開催 全国高等学校総合体育大会は、学校対抗で行われる高校生スポーツの総合体育大会であり、夏季大会と冬季大会が開催されています。令和5年度夏季大会が北海道で開催されるにあたり、帯広市では、女子サッカー、剣道、アーチェリーの3競技が開催され、監督・選手・コーチ2,008人、役員・補助員866人、観客8,853人の参加がありました。	 アーチェリー競技の様子
◆ スケート国際大会等誘致・開催 国内2例目の屋内スピードスケート場を有する帯広市において、国際大会を誘致・開催することにより、国際的なスポーツ交流拠点の形成を進めるものです。 令和5年11月には、2023/2024 ISU ワールドカップスピードスケート競技大会・帯広大会を開催し、選手24か国230人、観客4,141人の参加がありました。	 開会式の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域スポーツの振興 スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を56回開催し、延べ1,619人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する6つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行ったほか、スポーツフェスティバルを開催し、25種目2,734人が参加しました。そのほか、市民が身近な場所でスポーツ活動を行うことができるよう、学校施設を開放し、延べ168,326人が利用しました。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 情報発信や競技団体と連携し、日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会をはじめとする国際・全国・全道大会等の誘致を進めるとともに、開催支援を実施したほか、プロスポーツの誘致に取り組みました。また、フットバレーとかちマラソン大会は、5,024人がエントリーしました。
課題及び今後の方向性	(1) 地域スポーツの振興 総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などを通じて、市民が気軽にスポーツに親しむ機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信を行います。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進めます。

個別施策	7-23 スポーツ施設の整備・管理運営
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人々がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	77.3	82.7	80.4	93.9	96.8		82.0 以上
<成果指標の達成状況> R4 と比較して2.9 ポイント増加し、目標値を達成しています。実績値の基としているアンケートの回答項目の「施設内の雰囲気良さ」と「運動用具・器具の数量の充実さ」について、いずれもR4 より割合が増加しており、施設の適切な管理運営が行われたことが、利用者の満足度に繋がったものと考えられます。							

令和5年度の主な取り組みの内容	
◆ 帯広の森体育館整備 帯広の森体育館の第1体育室において、施設の安全性向上のため、特定天井対策として軽量天井への改修を行い、併せて照明のLED化及び床の張替え工事を行いました。	 特定天井対策・照明LED化改修工事

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、帯広の森陸上競技場走路・助走路等修繕、帯広の森市民プールろ過装置残留塩素濃度計交換修繕、帯広の森体育館特定天井対策・照明LED化改修工事、帯広の森運動施設高圧ケーブル等改修工事を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設の多くが供用開始から30年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。